

油吸着材 エコツリー 取扱説明書

松岡紙業株式会社

この度は、エコツリーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 「ご使用方法」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

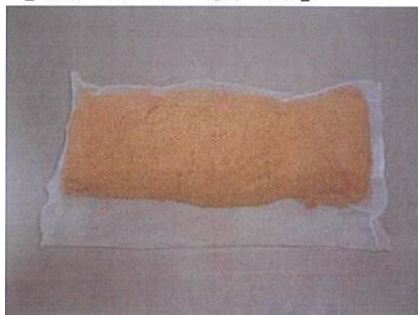
『安全上のご注意』

- ・油を吸着させる以外にはご使用にならないでください。
- ・60度以上の高温の油には使用しないでください。
- ・火気に近づけたり、投げたり、熱源のそばに放置したりしないでください。
- ・体質によって、アレルギー反応により、かゆみ、かぶれ、発疹等を発症する可能性がありますので、懸念のある方は保護メガネ、手袋等の保護具を着用してご使用されることを推奨いたします。
- ・本製品を使用して異常を感じたら使用を中止して医師に相談してください。
- ・お子様の手の届かないところに保管してください。
- ・直射日光のあたる所、高温多湿になる場所には保管しないでください。
- ・本製品は食べられません。

『ご使用方法』

- ネット入り、バラ製品ともに、油に接する面積が増えることにより吸着性が向上しますので、よく解（ほぐ）してからご使用ください。
※注意※ 解す際に「細かな繊維」が出ますので食材のすぐ近くは避けてください。
- 吸着するのは液体の動物系・植物系・鉱物系の油です。水・アク・固形化したラードは吸着しません。
- 油を吸着した後のエコツリーは、各自治体の指導に従って廃棄してください。

【ネット入りの使い方】



素材が固まっている場合

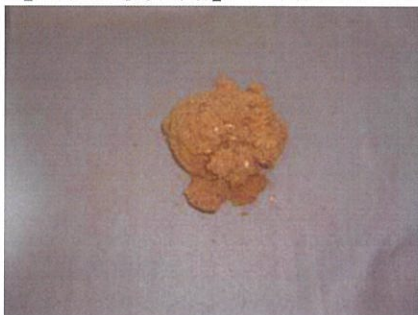


ネットの中で解して広げる
(※ネットは破れやすいので注意)



ネット内いっばいに広げて
残渣カゴ下や第2槽などに投入する。
この1個で約1kgの油を吸着します。

【バラの使い方】



掴んで取出した団子状態のまま
油の上に投入しても吸着効率が悪い。



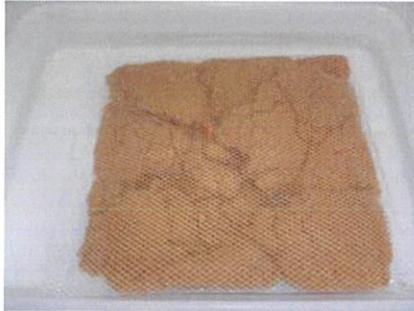
よく解しながら油の上にはばら撒く。



水面を撫でるように油とエコツリーを
寄せ集めると即座に油を吸着します。
吸着後すくってポイで回収します。

『油吸着状態例』

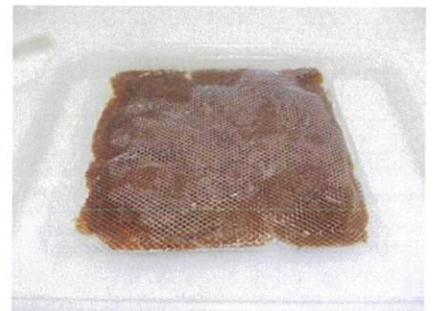
① ネット入り



投入直後
完全に水に浮いている



半分程度油を吸った状態
焦げ茶色の部分が油を吸った部分
まだ吸着余地があり裏返して使用可能



全体が変色し吸着限界に達した状態
水に2/3程度沈んでいる
新品のエコツリーに交換が必要

② バラ



解してばら撒いた直後
完全に水に浮いている



油を吸ったものが焦げ茶色に変色
油量に対してエコツリーが多過ぎる例

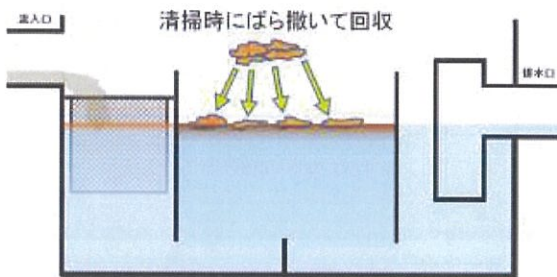


ほぼ全部が油を吸着した状態
油量に対してエコツリーが適量の例

『使用例』

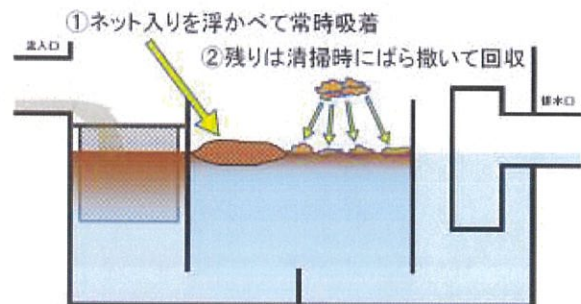
例1. 油が少ない場合

清掃時にばら撒いて回収。



例2. 油が多い場合

ネット入りを浮かべておき、清掃時に交換して余分な油をバラで回収。



例3. 油が特に多く、第3槽（トラップ槽）にも油が浮く場合（油が流出している状態）

バスケットの中にバラを入れ、さらにバスケットの下にネット入りを入れることで多くの油を第1槽で回収し、第2槽以降に流れる油を減らす。（ノルマルヘキサン値の改善に有効）

